5月21日に戸島地区人工巣塔から回収した雛の死体について

(1) 回収までの経緯

豊岡市立ハチゴロウの戸島湿地内の人工巣塔にて成育中だった雛のうち1個体で、およそ40日齢前後。

- 5月18日(土) 戸島湿地を訪れた人より、1個体について排泄が出来ていないと指摘がある(戸島湿地職員談)
- 5月19日(日)18時30分頃から19:30頃まで、1個体は立ち上がり排泄する行動を繰り返すが、1個体は踵座りのままで、徐々に翼が下垂していくのが監視カメラにて後日確認された。
- 5月20日(月)早朝から雛が1個体しか確認出来ないため、巣塔の裏山に戸島湿地職員が上がり、10時12分に雛が1個体死んでいるのを確認した。
- 5月21日(火)豊岡市からの依頼により、郷公園職員が高所作業車で死亡した雛を 回収した。

(2) 回収した雛の死体の状況

体重 2.65kg。死後硬直無し。眼球の乾燥が進む。腐敗臭あり、腹部等に変色が認められる。大きな傷はないが、数カ所に出血が認められる。胸筋の発達が悪いが、発育段階なので栄養状態が悪いのかは判断出来ず。アカマダラハナムグリが 10 匹以上付着していた。

(3) 回収した雛の解剖所見。

腐敗。内臓脂肪発達している。肝臓やや腫大。脾臓腫大。心嚢水貯留。食道から直腸 までチーズ様の付着物のある潰瘍。腸にはクリーム状の内容物あり。クロアカにチー ズ様付着物のある潰瘍。寄生虫は認められず(事故融解にて消滅した可能性有り)

(4) 死因

病死。腐敗が進み特定出来ないが、栄養状態に問題はないが脾臓などが腫大しており、 感染症により急激に弱った可能性がある。腐敗が進んでいるため、細菌検査等を行っ ても死因の特定は難しいと思われる。